

## 平成26年度 事業報告書

### 第1 事業内容

相談・支援件数は722件で、前年度対比47件7%の増加であった。犯罪の形態別では、殺人・傷害致死が93件、全体の約13%、強姦・強制わいせつなどの性犯罪被害が264件、全体の約37%を、暴行・傷害が126件、全体の約17%を占めた。その内訳は、次表のとおりである。

(件)

殺人・傷害致死	強盗死傷	性犯罪被害	暴行・傷害	交通被害	財産的被害
93	4	264	126	69	16
DV	ストーカー	虐待	その他	合計	
3	29	0	118	722	

#### 1 犯罪被害者等に対する電話・面接相談事業

犯罪被害者等の精神的被害の回復と軽減を図るため、支援活動員による電話・面接相談を行った。相談件数は、電話・メール相談303件、面接相談8件、合計311件、前年度対比+54件の増であった。

その内訳は、次表のとおりである。

(件)

電話相談	メール相談	面接相談	合計
295	8	8	311

(注1) 面接相談は、性犯罪被害者のカウンセリングや加害者に対する損害賠償請求に関するもので、臨床心理士や弁護士等の専門家の助言、指導を受けて行った。

(注2) 11月28日(金)～29日(土)に24時間電話相談業務を実施した。

#### 2 役務の提供等による被害者等の直接的支援事業

被害者や遺族からの要請を受けて、相談員や支援活動員が警察署、検察庁、裁判所への付添いなどの直接的支援を行った。前年度対比-7件であった。その内訳は、次表のとおりである。

(件)

裁判関連支援	検察関連支援	警察関連支援	行政窓口付添い
97	80	20	7
病院付添い	自宅訪問・生活支援	その他	合計
11	34	162	411

(注) その他とは、情報提供、自助グループ支援、弁護士付添、臨床心理士付添、給付金申請補助、直接支援に関する面接相談件数である。

- (1) 平成20年12月、刑事裁判手続きにおける「被害者参加制度」「損害賠償命令制度」が施行され、公判廷において、被害者や遺族が被告人質問・意見陳述する機会が多くなった。これらの司法制度改革に伴って、被害者支援の内容、在り方も大きく様変わりし、また、犯罪被害者の権利擁護の必要性が改めて示されることとなったため、検察、裁判所関連付添い支援が増加基調で推移している。
- (2) 被害態様では、暴行傷害に対する相談電話、検察、裁判関連支援や被害者の病院付添などが増加傾向を示している。また、少年事件での少年審判に関連する被害者支援、心神喪失者等医療観察法の審判での被害者支援等、新たな領域の支援を継続している。

### 3 犯罪被害者等給付金裁定申請補助事業

犯罪被害者等給付金裁定申請及び全国被害者支援ネットワーク緊急支援金申請件数は、ほぼ横ばい傾向である。

犯罪被害者等に、国が支給する給付金についての情報を提供し、申請手続き等について記載要領等を説明し、病院付添い等の申請補助を行った。被害直後に医療費や交通費、住居の転居費用等の経済的負担を強いられた被害者に対して全国被害者支援ネットワーク緊急支援金の申請手続きを行った。

### 4 犯罪被害者等の自助グループへの支援事業

交通事故等の遺族らによる自助グループ「はれあい」の活動を継続して実施した。同じ悩みや障害を持つ人たちの相互援助活動の維持・運営に側面的な支援を行う活動である。

月例会を毎月第3木曜日の午後にシンクタンク庁舎内で開催した。毎回3～7名の参加者があり、支援活動員がその支援に当たった。

### 5 関係機関・団体等との連携事業

検察庁、弁護士会との犯罪被害者協議をはじめ、県警察の被害者支援室、県環境生活政策課、こども家庭課、人権教育啓発推進協議会、犯罪被害者支援活動推進協議会、市町村との連携を図り、被害者支援に必要な協議、意見交換を行った。

開催結果は、次表のとおりである。

岐阜市人権教育・啓発推進協議会	
6月27日(金)	10月10日(金) 平成27年1月23日(金) 岐阜市役所 会議室
県犯罪被害者支援活動推進協議会総会	
5月19日(月)	県警察本部 事務局長出席
犯罪被害者支援協議会 (検察庁・県弁護士会犯罪被害者支援委員会・ぎふ犯罪被害者支援センター)	
9月12日(金)	11月14日(金) H27/1月23日(金) 検察庁 事務局長以下5名
犯罪被害者支援活動に関する連絡会議の開催	
9月24日(水)	NPO生涯学習プラザ 県警との被害者支援の連携活動について 事務局長他

県男女共同参画プラザ団体交流会
10月10日(金) 事務局1名 支援員1名参加
被害者支援専科
11月12日(水) 警察学校 事務局長 11月13日(木) 主任相談員
岐阜刑務所研究授業への参加
11月27日(木) 岐阜刑務所 事務局長出席
平成26年度安全・安心まちづくり及び犯罪被害者等施策担当者会議
平成27年2月24日(火) シンクタンク 事務局長講師
移動体圏外を利用した移動体圏外に関する高山市との事前協議について
3月24日(火) 高山市役所 事務局長、次長、山田相談員

## 6 犯罪被害者等の実態に関する調査・研究事業

全国支援ネットワーク主催のフォーラム・研修会をはじめ、他府県開催の講演会等に支援員を積極的に参加させ、被害者支援活動に関する知識の習得を図った。研修等は、次表のとおりである。

東北北陸ブロック研修会 質の向上研修上期・下期 (静岡 静岡コンベンションアーツセンター 他)
第1回 6月14日(土)~15日(日) 支援活動員2名参加 第2回 2月 7日(土)~ 8日(日) 事務局長 支援活動員4名参加 (内2名講師で参加)
ワンストップサービス視察 (大阪 SACHICO)
6月18日(水) 鈴木副理事長 事務局次長
性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(仮称)設置検討委員会 (県庁 他)
7月25日(金)~2月23日(月) 鈴木副理事長(弁護士会) 廣瀬副理事長(産婦人科医) 事務局長
直接的支援実地研修 (東京 都民センター )
9月8 (月) ~12 (金) 支援活動員1名参加
少年犯罪被害者当事者の会 「第15回 WiLL」 (大阪 大阪市立西区民センター)
10月11日(土) 支援活動員1名参加
全国犯罪被害者支援フォーラム・秋期全国研修会 (東京 イイノホール他)
10月3日(金) ~ 4日(土) 5日(日) 局長 相談員3名参加
自助グループ継続研修 (東京 機械振興会館 )
11月10日(月)~11日(火) 支援活動員2名参加
殺人事件被害者遺族の会フォーラム いのちかなでる『緒あしす』(名古屋 愛知県図書館)
12月14日 (日) 鈴木副理事長・松井理事 事務局長・支援活動員8名参加
性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(仮称)設置に関するワーキンググループ (県庁 他)

1月29日(木)～3月19日(木)	事務局次長
内閣府 性犯罪被害者支援体制整備満足進事業 (大阪 大阪府立男女共同参画・青少年センター)	
2月25日(水)～26日(木)	支援活動員2名参加
トラウマ研修 (大阪 新大阪丸ビル別館)	
3月3日(火)～4日(水)	相談員2名参加

## 7 犯罪被害者支援に従事する者の養成及び研修事業

### (1) 電話相談、直接的支援に携わる支援活動員研修

電話相談、直接的支援に携わる支援活動員32名を対象として、支援に必要な知識、技能の向上を図るため、NNVS認定コーディネーターによる研修をはじめ、精神科医・弁護士・臨床心理士等の講師によるスキルアップ研修を、毎月、継続して行った。

研修に当たっては、直接的支援の事例検討、ロールプレイングの研修技法を取り入れた。また、殺人事件被害者遺族や医師、臨床心理士、弁護士等を講師として、遺族の心情、面接相談技法、被害者支援の法制度等について研修させた。

研修等は、次表のとおりである。

実施月日	研修・講義内容	講師
4月 8日(火)	オリエンテーション 開講式・認定書の交付 支援者の自己理解	森川理事長 瀧戸事務局長
5月 13日(火)	捜査を通じ被害者心情について (捜査と被害者対応の今昔)	瀧戸事務局長
6月 1日(火)	被害者支援の課題と今後の展望 (倉立10周年記念講演会)	常磐大学大学院 諮問英道教授
7月 8日(火)	交通事故遺族の講話 自助グループ いっしょあいに参加して	交通事故ご遺族 片山由美子氏
8月24日(日) 1日研修	・局長会議・ブロック研修の報告 ・性暴力被害者支援について (医師の立場から)	産婦人科医 廣瀬令子医師
9月 9日(火)	支援者のセルフケアストレスとサポートについて	今井臨床心理士 塚本主任相談員
10月 14日(火)	様々な障害を抱える被害者支援の展開	県精神保健福祉センター所長 精神科医 丹羽伸也氏
10月 20日(月)	人材育成に関する研修	NNVS認定コーディネーター 楠本 節子氏
11月11日(火)	裁判員制度による被害者の権利擁護、支援方法 等と対応の仕方	鈴木副理事長(弁護士)
12月10日(火)	支援技術(リスニング技術の基礎) 研修報告	瀧戸局長 塚本主任相談員

1月13日(火)	事例検討会 事例検討会の目的・意義・必要性について理解	塚本主任相談員 林相談員
2月10日(火)	子どもの心が傷つくとき支える人が大切にし たい心 (降雪のため中止)	寺田臨床心理学研究所 寺田 道夫所長
2月25日(水)	人材育成に関する研修	NNVS認定コーディネーター 楠本 節子氏
3月 7(土) 1日研修	・公判場面におけるロールプレイ 裁判員裁判・被害者参加制度を知る ・電話相談受取対応のロールプレイ	NNVS認定コーディネーター 藤田 きよ子氏

## 8 犯罪被害者支援に関する広報・啓発事業

(1) 被害者の置かれた現状、被害者支援活動の必要性についての理解を深めるため、毎年、「犯罪被害者週間」の期間中に、街頭広報活動をはじめ、地元テレビにより周知のための広報活動等を行った。

6月1日に創立10周年記念式典を開催し、記念式典に続いて、講演会を開催した。講師は常磐大学大学院教授 諸澤英道氏から「被害者支援の課題と今後の展望」と題して、現在の被害者支援の現状と問題点について講演していただいた。

諸澤講師は、「防ぐことのできる犯罪」を未然に防ぐために、法律的に犯罪と認められる以前からの積極的な地域での被害者を守るシステム、被害者支援の必要性を説かれました。

(2) 支援センターの活動状況をまとめた機関誌「こころの輪」を年2回(20・21号)作成し、正会員・賛助会員、関係機関へ配布した。支援活動・報告、被害者家族の手記などを掲載した。

(3) ホームページのデータを更新し、犯罪被害の実情や遺族の手記、支援センターの活動内容、被害者保護のための法制度、相談窓口などを掲載した。ホームページのブログサイトにも、講演会・研修会の開催状況、街頭広報活動などを掲載して広報に努めた。

なお、本年秋を目途に性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(仮称)の県子ども家庭課からの受託事業に伴う、養成講座(7期 本年5月から6月)の開催等に関する広報をホームページで行った。

各種広報の開催については、次表のとおりである。

実施月日	内 容	参加人員
7月17日(木)	暴力追放岐阜県民大会(羽島市文化センター) パネル展示 リーフレット配布	10
10月 1日(火)	赤い羽根共同募金広報活動 JR岐阜駅周辺	10
11月 8日(土)	警察音楽隊演奏会 広報活動 長良川国際会議場 リーフレット・講演会チラシ等配布	12

11月 7日(月) 12月 1日(月)	懸垂幕取り付け(県警本部庁舎前広告塔) タペストリー貼付(関係機関)	
11月 8日(月) 11月14日(日)	パネル展示 リーフレット配布 いれあい会館コピー	15
11月25日(火)	犯罪被害者週間 街頭広報 JR岐阜駅	10
11月25日(火)	犯罪被害者週間周知の広報 ぎふチャンで収録	3
2月24日(火)	「安全・安心まちづくり地或連携会議」講話	50
3月13日(金)～	犯罪支援活動員養成講座(第7期) ～性犯罪・性暴力ワンストップ支援センター(仮称)支援員・相談員の募集～	
毎月11日	「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」 各務原イオン、リーフレット配布	

## 第2 会議の開催

### 1 理事会・総会を開催し、事業・決算報告、事業・収支予算計画等を審議した。

定時理事会	5月8日(木)13:30 いれあい福寿会館 408会議室
	・平成25年度事業報告・収支決算報告に関する件 ・役員に関する件
第2回 理事会	7月4日(金)～ 理事会決議の省略
	・副理事長、専務理事の選任に関する件
第3回 理事会	11月13日(金)～ 理事会決議の省略
	・預保納付金に関わる日本財団からの助成による補正予算決議(移動用防災車導入)に関する件
第4回 理事会	3月 5日(木)13:30 いれあい福寿会館 408小会議室
	平成27年度事業計画・収支予算に関する件 ・会員の入会申し込みに関する件
定時総会	6月 1日(日)12:30 岐阜都ホテル2階 「ボールルーム」
	・平成25年度事業報告・収支決算報告に関する件
第2回 総会	3月26日(木)13:30 県シンクタンク庁舎大会議室
	・平成26年度補正予算 ・平成27年度事業計画・収支予算に関する件 ・役員に関する件

### 2 運営委員会

偶数月に運営委員会を開催し、事業運営等について協議した。

開 催 月 日	協 議 事 項
4月16日(水) 14:00	理事会・総会の事前協議等
6月19日(木) 14:00	公益認定の定期報告 記念式典・講演会の開催報告
8月21日(木) 10:00	助成金申請報告 ネットワーク局長会議報告 ワンストップ支援センター設置検討会の報告 1日研修の開催について
10月23日(木) 10:00	支援車両に伴う補正予算の編成 預保給付金に係る助成金募集について 犯罪被害者週間中の行事計画・広報活動について
12月18日(木) 14:00	被害者支援に関する関係機関との会議 日本財団預保納金に係る助成申請について 性暴力ワンストップ支援センターについて(仮称)
2月26日(木) 14:00	平成27年度事業計画・予算(案)の事前協議 諸規定の改正 ブロック事務局長会議・ブロック研修の報告